



宝城中学校だより

令和8(2026)年4月24日

第41号

校長 小田 哲也

学校教育目標：志をもち、よりよい社会の創り手として未来を切り拓く子どもの育成

1. 生徒総会がおこなわれました。

4月23日(木)、宝城中学校生徒会のみなさんが一年間、どのような学校をつくっていくのかを協議し決定していく生徒総会が行われました。

拡大執行部一致団結がんばるぞ～



今年の生徒会のスローガンは「一張一志(いっちょういっし)～果敢に前へ～」に決まりました。このスローガンのものになる「一張一弛」にはメリハリをつけるなどの意味があるそうです。私は「メリハリをつけて、1人ひとりが自分の夢や目標に向かって成長していこう」という心意気を感じました。素晴らしいスローガンですね。

このスローガンの意味の中に、目指す生徒像と学校像が示してありました。

- 自分に自信がもてて、たくさんのことに挑戦できる生徒
- 過去の自分の反省を活かし、日々成長できる生徒
- 授業と休み時間のメリハリをつけることができ、誰もが安心して過ごせる学校

私は、この3つの中でも「自分に自信がもてて、たくさんのことに挑戦できる生徒」という一文に、私が目指している生徒像と重なっているなあと、とても感動しました。

今からの時代に必要な力として、「知識が豊富である」ということよりも、「実行に踏み出す自信と勇気」が必要な時代にきていると感じています。なぜなら「知識」についてはAIが代わりにやってくれる時代になってきたからです。「実行に踏み出す自信と勇気」を獲得するためには、若いうちに多くの挑戦と失敗を経験しておく必要があると考えています。失敗をしてもへこたれない気持ちや粘り強さは、経験しなければ身につけません。失敗から多くのことを学び、自分にできること、できないことを判断できるようになることが「自信を持って実行する力」に変わります。

また、あいさつの中でも触れましたが、「自信」をつけるためには、周りの環境も大切です。「一生懸命」を冷やかしたり、馬鹿にしたりする雰囲気の中では、「挑戦」することはできません。失敗しないようにビクビクしながら毎日を過ごさなければならないということは、どんなに不幸な毎日でしょうか。

ぜひ「自分に自信がもてて、たくさんのことに挑戦できる」ように、「一生懸命を冷やかさない、馬鹿にしない」雰囲気をみんなでつくっていきましょう。



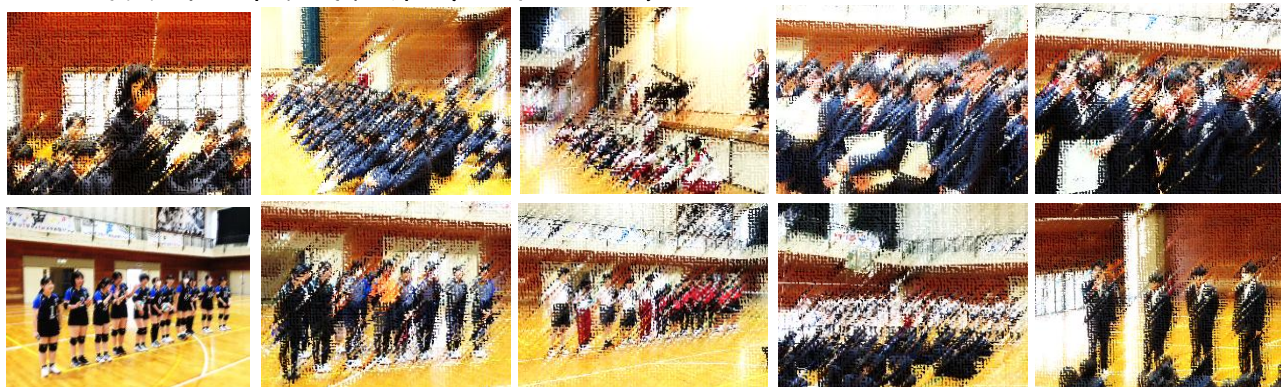


※議長を引き受けてくれた３年生の緒方遥大さんと井浦百合子さん、大役お疲れさまでした。二人にとっては、この役を引き受けたことがすでに「新しい挑戦」だったことでしょう。議長として素晴らしい進行を勤め上げましたね。

２，３年生のみなさんの中にも、昨年よりも一段階成長したところで「挑戦」をはじめている姿がチラホラとみえています。１年生のみなさんは、すでに中学校生活そのものが挑戦の日々になっているかもしれませんね。１年生から意見箱に対する修正案が出たことは、素晴らしいと感じました。よりよい中学校を作り上げていくために主体的に参加していく姿勢が本当に見事でした。

また、多くの生徒のみなさんが意見発表をしてくれて、みんなで作り上げた大変充実した生徒総会になったと感じています。ありがとうございました。

２．対面式・部活動紹介（４月１０日）



※対面式では生徒会拡大執行部から生徒会活動の説明や「宝城中学校〇×クイズ」など１年生のみなさんに宝城中学校のことを知ってもらいたいという気持ちがあるイベントになりました。

※部活動紹介では、狭い体育館の中で工夫してそれぞれのスポーツの普段の様子ができるようにアピールをしていました。